

## トップメッセージ

# PR発想のコミュニケーションコンサルティング・グループとして ビジネスの領域を拡大しています。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。2021年8月期（2020年9月1日～2021年8月31日）の当社グループの概況などにつきましてご報告します。

### ▶ プラップグループ、売上高80億円超えで過去最高へ

まずは新型コロナウイルス感染症に影響を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。当社としても、社員及び関係者の皆様の安全を最優先しながら新しい働き方を取り入れ、事業の継続・発展に取り組んでいます。

感染症の世界的な流行を受け、事業を取り巻く環境は厳しいものとなりました。そのような中でも、積極的な資本提携によるグループ戦略を推し進め、第51期は2社が新たにグループに加わりました。日本国内でデジタルマーケティングサービスを展開するプレジジョンマーケティング社と、SNSマーケティングに強みを持ち東南アジア地域で評価されているデジタルクリエイティブエージェンシーのWILD社です。継続的に伸長しているデジタル領域のサービスを国内外で強化してきた結果、当期の連結業績は、売上高82.1億円（前年同期比72.5%増）、営業利益3.1億円（前年同期比29.5%増）、経常利益3.3億円（前年同期比29.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1.4億円（前年同期比19.5%減）となりました。

### ▶ 「あしたの常識をつくる。」

これからの時代に力強い一歩を踏み出すために

当社は創業以来、「世の中のあらゆる関係性を良好にする」をミッションとして、コミュニケーションサービスを行ってきました。コミュニケーションの力であらゆる関係性をアップデートすることは、ビジネスや社会を前に進め、新しい価値観や常識をつくる土台となります。まさに、働き方も人との関わり方も大きく変化している今、業界の

慣習も変わっていくのではないのでしょうか。今期リリースした、広報PR業務のSaaS型クラウドサービス「PRオートメーション」は、これまでの広報PR業務をデジタルトランスフォーメーションする革新的なデジタルソリューションです。私たち自身も、既存のビジネスの枠やこれまでの「あたりまえ」にとらわれることなく、新たな価値を生み出し続け、コミュニケーションコンサルティング・グループとしてスピード感をもって成長してまいります。

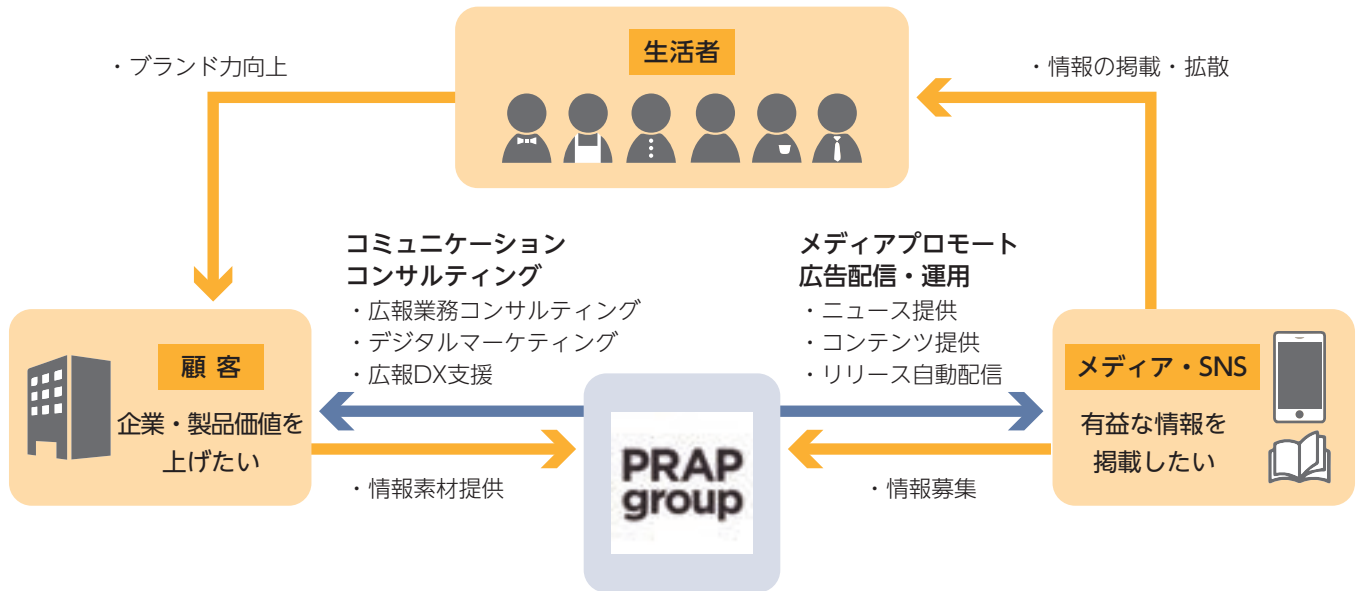
代表取締役社長 鈴木勇夫



## 事業内容

プラップグループは、PR発想のコミュニケーションコンサルティング・サービスを提供しています。創業以来これまで培ってきたPublic Relationsの知見を核に、コミュニケーション領域において事業の幅を広げています。

国内外の企業・団体を顧客とし、認知拡大・ファン獲得・ブランディングなどコミュニケーション上の課題を解決します。コミュニケーションサービスとデジタルサービスを統合し、今まで以上に幅広いサービス提供を推進。社会の多様化や顧客ニーズの変化に合わせ、お客様や社会の期待を超える新しい価値を生み出すことを目指しています。



## グループ体制

プラップグループは、株式会社プラップジャパンを中核としたコミュニケーションコンサルティング・グループです。異なる専門性を持つグループ各社がダイナミックに連携し、あらゆるコミュニケーション上の課題を解決します。



# TOPICS

## 1 戦略的な資本提携



PR発想のコミュニケーションコンサルティング・グループとして、積極的な資本提携を進めています。第51期には、デジタルマーケティングを行うプレシジョンマーケティング社と、東南アジア地域でのSNSマーケティングに強みを持つシンガポールのWILD社をグループに迎え、ビジネスの領域を広げています。

## 2 デジタルサービス強化



今後も成長が見込まれるデジタル領域をさらに発展させるため、デジタルマーケティング部を新設しました。新たにグループ化したプレシジョンマーケティング社が持つデジタルマーケティングの専門性と、当社のコミュニケーションの知見とを掛け合わせ、シナジー効果を生むことで成長を加速させています。

## 3 革新的な新サービス



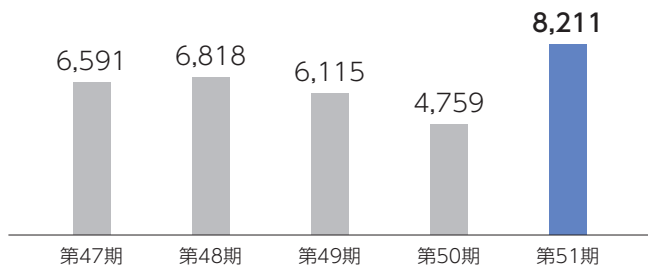
広報PR業務のSaaS型クラウドサービス「PRオートメーション」をローンチしました。時間がかかる作業を効率化・自動化し、また、見える化を通じて業務の最適化や結果分析を一貫して可能にします。今後も企業のコミュニケーション活動におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援します。

### その他の動き

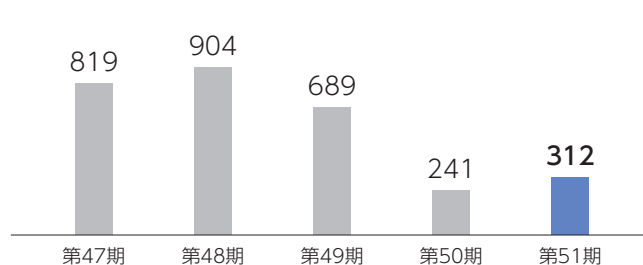
- ▶ 従業員の安全確保と効率性を重視した在宅勤務や時差通勤などの柔軟な働き方が定着し、社員のウェルネス向上とともに顧客へ安定したサービスを提供
- ▶ 2010年からスタートした慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所での寄附講座「広報・PR論」を今年度も開講
- ▶ 職場におけるLGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で、2016年から毎年最高評価を受賞

## 業績ハイライト

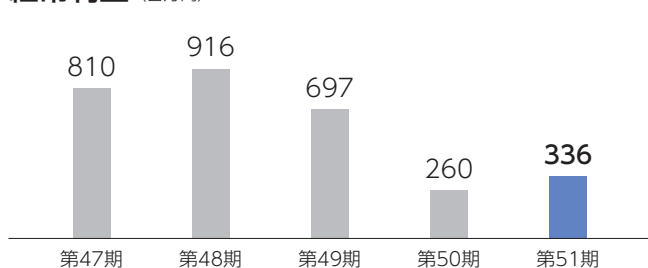
### 売上高 (百万円)



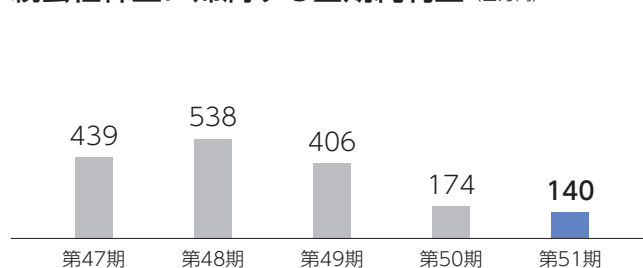
### 営業利益 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



## 会社概要 (2021年8月31日現在)

会社名	株式会社プラップ ジャパン PRAP Japan, Inc.
所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル 33階
代表者	鈴木 勇夫
設立年月日	1970年9月9日
資本金	4億7,078万円
従業員数	332名 (連結)
事業内容	日本・中国・東南アジアに拠点をもち、コミュニケーション分野の専門性を持つグループ会社と連携し、PRを軸としたコミュニケーションサービスやデジタル広告などのデジタルサービスを掛け合わせ、コンサルティングから施策実行まで一気通貫で提供。
連結子会社	株式会社ブレインズ・カンパニー 株式会社旭エージェンシー ウィタンアソシエイツ株式会社 プラップノード株式会社 株式会社プレジジョンマーケティング 株式会社トランスコネクト 株式会社ポイントジャパン 北京普楽普公共関係顧問有限公司(プラップチャイナ) 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司(ブレインズチャイナ) PRAP ASIA PTE. LTD. PRAP POINTS Singapore PTE.LTD. WILD ADVERTISING & MARKETING PTE.LTD.

## 株式情報 (2021年8月31日現在)

発行可能株式総数	18,716,000株
発行済株式総数	4,679,010株
株主数	1,018名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Cavendish Square Holding B.V.	935	23.63
矢島婦美子	885	22.35
光通信株式会社	395	9.98
野村しのぶ	394	9.95
矢島さやか	367	9.28
株式会社日本カストディ銀行	193	4.88
株式会社UH Partners 2	70	1.77
小山純子	59	1.51
プラップジャパン従業員持株会	41	1.05
鈴木勇夫	39	0.99

- (注) 1. 当社は、自己株式718,028株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
2. 鈴木勇夫氏の所有株式数は役員持株会を通じて所有している持分を含めた実質所有株式数を記載しております。  
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株主メモ

事業年度	9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	期末配当金 8月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.prap.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

#### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## MORE INFORMATION

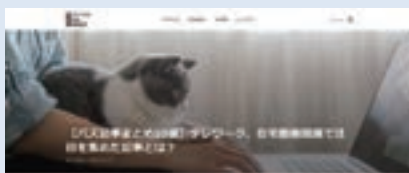
### 当社公式サイト



<https://www.prap.co.jp/>

当社の公式ページです。新サービスなどのご紹介のほか、IR情報も掲載しております。

### IDPR公式サイト



<https://institute.digitalpr.jp/>

デジタルPR研究所 (IDPR: The Institute of Digital PR) ページです。2017年設立、デジタルメディアの「現在」を知ることで「未来」のコミュニケーションのあり方を探ることをテーマに活動しています。

### noteアカウント



[https://note.com/prap\\_note/](https://note.com/prap_note/)

「PRAP OPEN NOTE」を開設しました。コミュニケーションで「あしたの常識をつくる」挑戦の過程と、そこで発見した新たな視点やアイデアなどを、対談コンテンツとして発信していきます。